

01

11月 2020

# 死の宣告

主を思う・  
by NCM2 CHOIR

全 1 page

## ＜死の宣告＞

2017年1月、私は、CTスキャンの報告を読んでいました。その報告書には、私の左の胸に埋め込んでいるICD(心臓のペースメーカーと細動防止器)の真後ろに18mm×9mmの塊が見えるので、癌の可能性がある。念のため、PETスキャンをするようにとのことでした。その時、“癌かもしれないのか？”“死ぬのか？”と思いました。自分は、これまで充実した人生を送ってきたし、天国に行くという信仰があるので、動搖はしませんでしたが、その時、どこからともなく“あなたの日を数えなさい”という声が聞こえたのです。それは、不思議な声でした。そして、それ以降この“あなたの日を数えなさい”という声は、いつも私の心の中にとどまっていました。それから癌の治療をし、その約一年後に癌が消えたと宣言されたのに、最近また首に再発したと言われて、治療を続けています。

## ＜何のために日を数えるのか＞

つい先日、高吉聖吾先生が詩篇90篇12節からメッセージされて、あの声“あなたの日を数えろ”という意味は、“残りの日を悔いのない充実したものにしなさい”という意味以上に、“主なる神さまの恵みの中で神さまの為に生きなさい”ということだと知りました。“自分の為じゃなくて神さまのために生きる”ということ。・・・そうできたらうれしいなと思います。癌の治療室で、ある人がCancer(癌)は祝福です。生きる意味を教えてくれるからと言っていたことを思い出します。本当にそうだと思います。癌は、死をいつも意識させてくれます。毎日、普通に死と共に生き、普通に主と共に生きることが出来るのは恵みです。

『私たちに自分の日を正しく数えることを教えてください』(新改訳 詩篇90篇12節)



折尾クリスチヤーチ

住所 〒807-0873

福岡県北九州市八幡西区藤原2-12-6

電話&FAX 093-692-9200 (9:00~13:00) URL <http://www.riochristianchurch.net>

メール [riochurch@outlook.jp](mailto:riochurch@outlook.jp)